

つながる! NHK メディア・リテラシー教室

2024年2月7日
実施報告

午前の部 参加校

71人の児童の皆さんにご参加いただきました!

【大阪府】大阪市立今里小学校	6年生	22人
【千葉県】匝瑳市立須賀小学校	5年生	22人
【山梨県】甲府市立羽黒小学校	5年生	27人

午後の部 参加校

109人の児童の皆さんにご参加いただきました!

【群馬県】みどり市立大間々南小学校	5年生	26人
【京都府】京都市立京極小学校	5年生	24人
【愛知県】春日井市立岩成台小学校	5年生	34人
【山梨県】甲府市立羽黒小学校	5年生	25人



参加校の先生より

- ・他校との交流を楽しむことができました。ワークシートを書く時間もあり、自分たちの考えを書いてから話し合うことができました。とても楽しく学ぶことができたという満足感をもった子どもたちが多かったです。
- ・自校からの発表や質問への返答、そして、他校との意見交流について、事前に考えていたよりも深く考え、学ぶことが大変多かったですと実感しました。
- ・子どもたちはこの教室をとっても楽しみにしていました。カメラの前に立った子はとても緊張したようで、よい経験になっていました。授業でもメディア・リテラシーについて触れたばかりだったので、メディアについて深い理解を得ることができました。
- ・他府県の学校の児童さんと、今求められているメディア・リテラシーについて学習をすることができ、大変貴重な時間となりました。教室後、アップとルーズや画像の加工について、子どもたちの話題にあがっていました。
- ・ケーキ屋さんの章では、それぞれに思いやねらいがあって画像を選んでいたことなど、他校の子どもたちの考えが直接聞ける機会はとても貴重な時間でした。
- ・事前課題も、教室での課題もすべて児童は前のめりに参加していました。特に他校の児童とのつながりから生まれる他者意識は、児童の意欲を高める動機になりました。



参加児童へのアンケートより

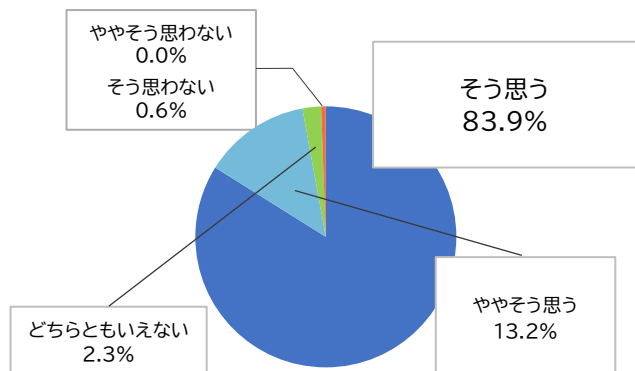
学んだこと

- ・受け手によって考え方は違う。アップやルーズを効果的に使うことで、印象を変えることができる。
- ・発信してよいことと悪いことを考えて、他の人に迷惑をかけないようにすること。
- ・見ている映像は映っていないところもあると理解する。送り手が何を伝えたいのかを意識してみる。

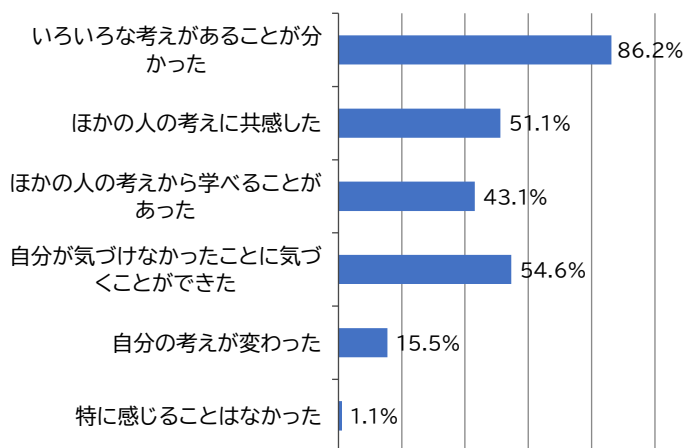
これから生かそうと思うこと

- ・自分が何を伝えたいのか、内容や度合いを考えて(画像の)加工をする。
- ・送られてきたことを色々な観点から見る。
- ・加工されていることもあるということを入れて動画などを見る。

Q.この教室は楽しかったですか。



Q.ほかの学校の発表を聞いて、
どんなことを感じましたか。(複数回答可)



午前の部 進行役・大橋 拓アナウンサーより

いくつか難しい質問も投げかけましたが、友達と協力しながら考えてくれる様子が伝わってきました。また他の学校とつながることで、違う意見や見方があることに気付いてくれたみたいで嬉しかったです。いろんな人と簡単にコミュニケーションができる時代だからこそ、そうした意見の交し合いを重ねながら、受け手や送り手によって、メディアを通じて伝わるメッセージは違うものになることを感じてもらえればと思います。



午後の部 進行役・早坂 隆信アナウンサーより

今回のテーマの一つ「画像の加工」は子どもたちにとって身近なもの。いくつかのケースで加工の「あり」「なし」を訊ねましたが、人によってその基準が違いました。この先、発信する側としてその基準に迷うことも出てくると思います。そのときは何よりも「受け手の気持ちを想像する」ことを大切にしてほしいと思います。今回の教室のまとめではそのことについての気づきを話してくれた子どもたちが多く、とても頼もしく感じました!

